

中大理工ボート部OGOG幹事会 今後のビジョン設定

2020年 9月12日 総会資料

監督 中島 弘高

はじめに

- **中大理工OGOG会の幹事会**として、結成から4年ほどが経過しました。若手OGOGが入り、一定の成果を出してきました。現役との双方向のパイプができたことは、大変な進展であると認識しています。
- 同時に、国内ボート界からも、中大理工ボート部の活動内容に一目おかれるようになってきております。大変喜ばしいことではありますが、同時にボート競技／運営へのサポートを、いっそう要望されている状況であります。
- このような背景から、理工ボート部OGOG幹事会は、活動目標を新たに定め、次世代につなげていく**パラダイムシフト**に来ていると認識しています。

- しかしながら足元を見ると、現在のコロナ禍で、現役のボート部活動は停滞・後退している状況であります。
- 7月末より監督・コーチ・現役幹部と協働で、学友会に嘆願書を送り、活動早期実現を調整することにしました。しかし簡単には立ち行かず、活動再開は嘆願書を出してから1か月経過した今週、活動再開が認められた状況です。
- 結局新入生もなく、もはや**廃部の危機再来**と言っても過言ではありません。

- このような状況ではありますが、とにかく前向きに進むしかありません。OBOG会・および現役活動を盛り上げるには、**私たちにできることは何か**を考え、具体的にFitできるような計画を検討しました。

1. 中大理工ボート部OGOG幹事会のミッション

■OGOG幹事会のミッション

- ◆会則に従い、現役学生の活動パフォーマンスを最大限発揮できるように、タイムリーにサポートすること

本会は、会員相互の親睦・交流を図るとともに、中央大学理工ボート部の健全なる発展に寄与することを目的とし、以下の事業を行う。

- 1) 会員相互の親睦のための会合・行事等の企画・実行
- 2) 理工ボート部の学生による自主的な活動を尊重し、継続的な発展といきいき活動できる環境づくりに向けた支援・協力

- ◆OGOG会を発展させるため、OGOG相互関係の関係強化はもとより、対外的にも良好な関係強化を構築すること
 - 学校
 - 本チャン
 - 他大学
 - ボート協会

2. 直近の課題（AsIsの把握）

① ミッションが明確になっていない

- ◆ 総会や納会・初漕ぎなど年間計画のイベントをこなすことだけが目的になっていないか。
- ◆ 胸を張って学生への支援内容を説明できていないのではないか。（金を出しているだけに見えていないか）

② 活動目標が定まっていない

- ◆ 幹事会は作業を中心に行っているが、学校とのつながり／チャンとのつながり／日本ボート協会や学連とのつながりを次世代に向けて効率化するなど、きちんと話し合われていない。
- ◆ 現役に対しても、今後の活動目標をきちんと説明できていない。5年後に幹事会が何をサポートできるのか、誰も説明できない。

③ 直近課題に対する応動ができていない

- ◆ コロナ禍で現役が活動できていないことに対して、学友会や他団体との協力体制構築が、OBOG会として組織的に行動できていない。
- ◆ 現役部員のモチベーションダウンに対して、他団体の情報収集が不足しており、的確なアドバイスを監督・コーチに与えられていない。

3. 今後の目標 (ToBe像)

■ OGOG会としての目標

◆ 現役部員の支援依頼に対して速やかに応えることができる。

- 合宿に行く交通手段をサポートできている
- 艇や備品の購入を計画的にサポートできている

◆ OGOG全体で活動を支援できる。

- ほぼ全員が会費を納付
- 総会への参加率80%以上（委任状含む）

※前提

- 具体的な練習計画は学生に任せるべきであるが、部としての進むべき方向性は、監督やOGOG幹事会で統一されていること。

■ 現役理工ボート部を含めた目標

◆ 2024年度に中大理工ボート部が理工系の主幹校になる。

◆ 学生はインカレに出場している。（2020年度からインカレ出場枠が狭まる予定）

◆ 年度当初に新入部員が10人入れる部としての土壌をつくる。

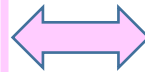
◆ 理工系に留まらず、大学間をつなぐコミュニティを率先して構築できる文化を醸成する。

4. 理工ボート部の直近課題と必要な対応

■ 現在の課題

現役ボート部の活動における課題

- コロナ禍のため、2月末からオンライン以外の一切の活動を停止中
- 新入生が一人も確保できていない
- 既存の学生も一部モチベーションが下がり退部者が続出



OBOG会から見た課題

- OBOG幹事会から現役への声かけが十分にできていない
- 監督が多忙によりコミュニケーション不足（緊急時サポート体制が未検討）

■ 今後に向けた対応

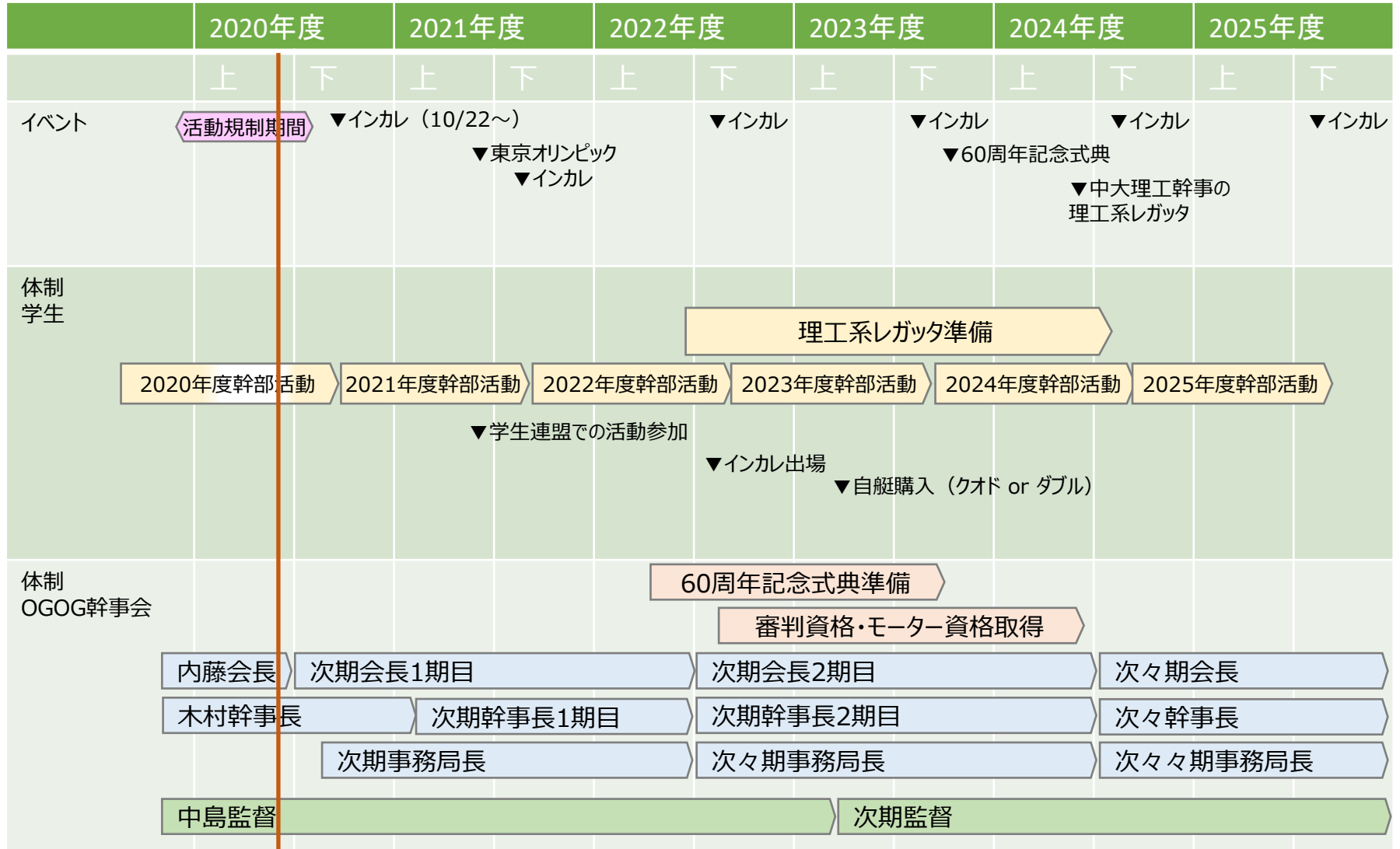
OBOG会でのアクション

- OBOG幹事会で現役ボート部の状況を把握
8月初旬より学友会との調整を行い、活動再開の許可を獲得（9/9）。可及的速やかに実施が必要
- 監督だけでなく、現役⇔OBOG会との情報連絡ルートの構築

現役への支援・アクション

- 学生幹部やメンバと対話を行い、モチベーションや悩みを共有
- 活動計画をヒアリングし、支援内容をOBOG会に持ち帰り
- 定期的な情報交換の場のセッティング

5. 2025年までの理工ボート部活動ロードマップ



6. 移行計画①

■ 2020年度、課題と目標の共有

- ◆ O B O G会幹事長が、幹事会メンバで議論できるように、定期的なファシリテートを行う。
- ◆ O B O G会幹事長の役割分担が多くなっているため、役割を分ける。
 - ①幹事長：部内の計画管理や各種イベントコーディネータの位置づけに
 - ②事務局長：これまで同様に連絡作業やハガキ作成作業を主体的に実施
- ◆ 前述の課題を速やかに整理して、意識向上を行う。
- ◆ 現役学生の体制強化をサポート（新入生勧誘）に参加する。
- ◆ 目標達成（2023年までに理工系主幹校になることを中心）までに必要な事項のとりまとめ。
- ◆ 他大学のOBや学生とコンタクトを取り、関係強化を主体的に実施。

※理工系主幹校になるための条件

- モーターボートの資格を有するOBや学生がいること
- ウォーターマンや審判の資格を有すること
- 本部の運用（放送・資料印刷など）が理解できること
- 他大学との調整を行えるように1年前から幹事会を運営できること

6. 移行計画②

- 2021年度、幹事会の体制強化を行う。
 - ◆ 現在の総会出席者や会費支払い者の偏りを考慮して、味方を増やしたい。このためにガバナンスの効く上下関係を有効に活用したい。
 - ◆ 具体的には、中島監督の5年上までの世代は、ボート部が成長していく良い時期を知っているOBなので、ぜひ幹事会に迎え入れたい。
- 2022年、OB幹事会の層を厚くする。
 - ◆ 中島5年上の中年世代が、幹事会へ入会。【※味方を増やす】
 - ◆ 中年OBが増え、若手の増員とともに、一時的に混沌とした状態になる。
 - ◆ 翌年の60周年記念式典の準備開始。
- 2023年、60周年記念式典開催
 - ◆ 60周年記念式典開催の頃には、幹事会既存メンバは、モーター資格取得/ウォーターマンの運用方式の習得/審判資格取得をし、理工系レガッタ主幹校準備として各種行事に参加。
 - ◆ 現役ボート部の監督体制を刷新する。
- 2024年、初夏に理工系レガッタを主催
 - ◆ 新世代の運用が着実に回っている。
 - ◆ 中大理工が理工系レガッタの主幹校として、理工系レガッタを主導できている。
 - ◆ 大学間の交流が進んでおり、ボートを通じたコミュニティができている。
 - ◆ OB会長交代。（中島が立候補予定）

7. 理工ボート部の各役職と役割分担の考え

-----> キャリアの流れ

役割	主な実施内容
新人	理工ボート部を知り、ボートスポーツと理工ボート部に興味をもって楽しむこと
現役幹部	理工ボート部の活動を引っ張り、責任をもって部員を育成すること ・練習計画／合宿計画の立案と実行、・艇の利用計画、・修繕の実施 ・部員のモチベーションコントロール、 ・理工連盟との調整、・会計帳簿の整理、・合宿時の各種調整（車や人の手配）
コーチ	・現役部員のコミュニケーション活性化支援、・現役学生の各種悩み相談役 ・練習計画支援、・練習支援、・フィジカルアセスメント ・監督のヘルプ、・合宿時の支援
監督	・現役活動支援、・現役幹部との相談役、・学生の事故・重大疾病に対する責任者 ・日本ボート協会との連絡窓口、・中央大学学友会調整窓口
OGOG 幹事会	・ 現役ボート部員の支援計画策定 ／支援内容の審議 ・現役ボート部の活動内容のアピール（OGOG会内／対外） ・会則の管理、・OGOG会メンバの名簿管理、・OGOG会の会計管理 ・総会の運営、・OB新歓／納会の執り仕切り、・OBIイト活動
対外調整役	・日本ボート協会／全国大学連合／東京都ボート協会との調整窓口 ・理工系レガッタ窓口／ 他大学合同活動連絡窓口 ※現在担当者不在（OGOG会長・監督が代理）

8. 今後のOGOG幹事会の運営体制案

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
OGOG会長	内藤→下遠野	下遠野	下遠野	下遠野	下遠野→中島
OGOG会幹事長	木村	※今後調整	※今後調整	※今後調整	※今後調整
OGOG会事務局長 (※新設)	岡田	岡田	岡田 (萩野 or 福田)	岡田 (萩野 or 福田)	岡田 (萩野 or 福田) →今後調整
OGOG会広報担当	岡崎→多田	多田			
OGOG会会計	山下	※今後調整	※今後調整	※今後調整	※今後調整
監督	中島	中島	中島	中島→桑原?	桑原?
ヘッドコーチ	岡本	岡本	岡本	岡本 or 谷?	?
備考	<ul style="list-style-type: none"> ●年度内は方向性について合意をとることを重視。 ●事務局長（新設）は、連絡作業を主体的に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ●幹事長は25期～30期で検討。移行できるように、2020年度内から調整を行う必要あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ●幹事長は、部内の計画管理や各種イベントコーディネータの位置づけに 	<ul style="list-style-type: none"> ●次期監督は、若い世代に切り替え。前提条件 ・ロケーション（戸田に通えるか否かも重視） 	

- ①幹事長：部内の計画管理や各種イベントコーディネータの位置づけに
 ②事務局長：これまで同様に連絡作業やハガキ作成作業を主体的に実施

以上

